

つみきのくらし

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子

やってみよう会への取り組みが始まりました

NO.34

9月の『うんとうごく会』に続き、こども園つみきの2大イベントの『やってみよう会』に向けて、3, 4, 5歳の子どもたちは今、動き始めています。

そして、『うんとうごく会』同様、今回も企画者は子どもたちです！自分たちのしたいこと、見せたいことを子どもたちが計画し、準備し、試行し、改善し当日を目指します。今回も、この『やってみよう会』に向けて子どもたちが友だちと一緒に作り上げてきた1ヶ月の過程を動画にまとめ、当日お見せする予定です。

ちょっとだけ紹介



やってみた！



考えてみた！

こあら組(3歳児)では、初めてのイベントでイメージが湧きやすくなるように、まず会場(福祉センター)へ行きました。ステージに実際に上がってみて、「ここがステージか～、広いな～」と知るところから始まりました。ここでどんなことをしたいか(見てもらいたい)を話し合い(少しずつサークルタイムが様になってきました)、実際にお試しです。

やってみると見えてくるもの、次々出てくるアイデアをこれからみんなで形にしていきます。

にじ組

お店屋さんあそびが進化し、テレビの取材が入りました。マイクを向けられて食レポをしています。



おすすめはなんですか？

彼はカメラマンです！

このフライドポテトです！



ほし組

やってみたいこと・お家の人に見てもらいたいことを絶賛考え中です！



なわとびなんかどうかな？

ゆきだるま作らない？

ぱんだ組はお外で手作りインカムを使ってかくれんぼ、つみきを使って宝探しをやってみました。



行事のあり方を見直すことで、職員は子どもたちが持っている力を信じ、子どもたちならではの発想や表現を最大限の形にしたいと考えています。職員もメンバーとなつて一緒に楽しんでいきます！